

城っ子の未来を拓く

愛南町立城辺小学校

防災教育だより

2026. 7. 13 NO. 6

タオル 1 枚から始める防災学習

～身近なものが命を守る道具に～



夏空がまぶしく感じられる季節となりました。日頃より、本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

近年、地震や大雨などの自然災害が各地で発生しており、災害への備えの大切さを改めて感じる機会が増えています。

さて、もうすぐ夏休みです。本校では、親子で防災について考える機会として、夏休みの課題「防災家族会議」に取り組みます。今年は、「防災リュックづくり」を中心に行います。防災リュックは、フェイスタオル1枚とひもだけで手縫いします。災害時には糸をほどこことで、タオルやひもを防災用品として活用できるよう工夫しています。身近な物を工夫して使うことも、大切な防災の知恵です。

この課題は、リュックを作ることが目的ではありません。親子で「わが家に必要な備えは何だろう」「家にある物で役立つものはあるかな」と話し合いながら、防災への意識を高めることを目的としています。

ぜひこの機会に、避難場所・避難所や連絡方法、防災用品についても御家庭で話し合ってみてください。御家庭での話し合いが、お子さんの「自分の命を守る力」を育むきっかけになれば幸いです。

一足先に防災リュック作りに取り組んだ5年生の様子

簡単だったので、家族分作りたいです。 U.K

バランスよく作るのが難しかったです。 H.Y



ひものタグを付けるのが難しかったです。 S.U

何を入れるかを家族で話し合いたいです。 I.A

避難した時に、けがしていたり汗をかいたりしたら、ほどこいて使いたいです。 I.T



(ぼうさい) 防災タオルリュックを作ろう！

いざというとき、タオルにもどる まほうのリュック



★このリュックのひみつ★

災害（さいがい）のとき、ぬい糸（いと）をおちっと切（き）って引っ張（は）ると、あっという間に普通（ふつう）のタオルにもどるよ！ 体をふいたり、ケガの手当（てあ）てに使（つか）ったりできる、とても役立（やくだ）つリュックです。

材料

袋に入っているもの。

- ・フェイスタオル：1枚
- ・長いひも：2本（背負う用）
- ・短いひも：2本（タグ用）

自分で用意するもの。

- ・針
- ・糸

作り方



- 1 **タオルを二つ折りにする**
タオルを【裏返し（うらがえし）】にして、半分にバタンと折りま
す。
★ポイント：タオルの「おもて面」が内側になるように折ろうね。



- 2 **ひも通し（あけ口）を作る**
折ったタオルの上の端（はし）を、【約3cm下】に折り曲げます。
折り曲げたところを、手ぬいで「なみ縫い（ぬい）」します。
★ポイント：ここがあとで長いひもを通す「トンネル（穴）」になるよ。



- 3 **下のすみに「ひものタグ」をつける**
短いひもを2つ折りに（わっかに）します。タオルの下側の両サイド
（わき）に、そのひもをはさみ込み縫い付けます。
★ポイント：ひもの「わっか（輪）」をタオルの【内側】に向けてはさ
むのがコツだよ！



- 4 **両わきを縫う**
タオルがズレないように気をつけて、両サイド（左右）を手ぬいで縫い
合わせます。端から1cmくらい内側を、なみ縫いしましょう。
★重要：③ではさんだ短いひも（タグ）も、一緒にしっかり縫い込もう
ね！



- 5 **うらがえして、長いひもを通す**
縫い終わったら、タオルをひっくり返して（おもて面に）袋の形にしま
す。上のひも通し穴に、右から1本、左から1本ずつ、長いひもをぐるっ
と通します。
★さいごの仕上げ：通したひもの先を、底のすみに飛び出した「ひもの
わっか（タグ）」に通して、しっかり結べば完成！

